

木祖村議会だより

道しる



最大規模予算で人にやさしい環境作りを



2月17日(月) 模擬子ども議会

令和2年4月23日

No 168

令和2年度 当初予算

木祖村第2次総合戦略の初年度 過去最大規模の予算となる

令和2年3月会議が3月6日(金)から3月23日(月)までの18日間の日程で開催されました。今会議には令和2年度当初予算を含む下記30議案が提出され、慎重審議の結果、全案件を原案通り可決しました。

- ・令和2年度当初予算 5件 (一般会計および特別会計・事業会計)
- ・令和元年度補正予算 6件 (一般会計および特別会計)
- ・人事案件 1件 (固定資産評価審査委員会委員)
- ・条例制定 6件 (大蔦屋設置・管理に関する条例他)
- ・条例廃止 1件 (農業集落排水施設設置・管理に関する条例)
- ・条例改正 8件 (特別会計設置条例の一部改正他)
- ・木曾広域連合関係 1件 (木曾広域連合規約の変更)
- ・町村公平委員会関係 1件 (共同設置規約の変更)
- ・辺地計画 1件 (栗屋辺地と栃ノ木辺地の整備計画の変更)



令和2年度 村のお金の使い道 (一般会計目的別予算概要)

総額31億4590万円 (5015万円増)

CATV光化負担金、加工センター、村営住宅建設事業等がなくなるも、社会福祉施設、橋梁長寿命化事業、社会体育館改修等があり過去最大規模の予算となる。

総務費

6億1005万円 (△1億4746万円)

- ・地域おこし協力隊事業
- ・役場庁舎電力需要対応工事
- ・戸籍住民基本台帳等システム費用他



民生費

7億515万円 (△1286万円)

- ・社会福祉施設建設・備品購入
- ・木祖村社会福祉協議会への交付金
- ・保育所運営他



衛生費

1億4089万円 (1922万円増)

- ・広域連合負担金 (旧炉解体負担金)
- ・各種検診、予防接種
- ・簡易水道事業会計繰出他



農林水産業費

2億3019万円 (△2631万円)

- ・コンバイン購入
- ・林道改良事業
- ・あやめ池棧橋等整備事業
- ・公有林整備事業他



商工費

1億3831万円 (△1988万円)

- ・プレミアム商品券補助
- ・観光協会交付金
- ・こだまの森トイレ設置
- ・木曾ペインティングス事業他



土木費

4億3080万円 (9153万円増)

- ・橋梁長寿命化事業
- ・村道 (菅線・岩岳線) 改良工事
- ・見山地区急傾斜地崩壊対策他



消防費

1億3744万円 (2758万円増)

- ・第1・4分団消防ポンプ積載車更新
- ・広域連合消防庁舎整備負担金
- ・防災備品の整備他



教育費

2億5673万円 (6399万円増)

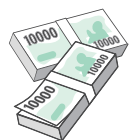
- ・社会体育館天井等改修
- ・文化財保護事業
- ・公民館運営費他



公債費

3億4900万円 (1900万円増)

- ・新ゴミ処理施設建設に係る元金の償還が始まったことから増加



※ () 内の数字は前年比。△は減額。

木祖村固定資産評価審査委員会委員に 4月1日から平井康則氏が選任されました

■ 議案30件（人事案件1件、条例制定6件、条例廃止1件、条例改正8件、町村公平委員会関係1件、木曾広域連合関係1件、辺地計画1件、補正予算6件、当初予算5件）

※議案第28号を除きいずれも原案どおり全員一致で可決

令和2年3月会議 【提出議案一覧】

- | | | | |
|---------|-------------------------------------|---------|---|
| ○議案第3号 | 木祖村固定資産評価審査委員会委員選任の同意を求めることについて | ○議案第17号 | 木祖村鳥獣被害対策実施隊設置条例の一部を改正する条例について |
| ○議案第4号 | 木祖村村長等の損害賠償責任の一部を免責する条例の制定について | ○議案第18号 | 木祖村消防団条例の一部を改正する条例について |
| ○議案第5号 | 大蔦屋設置及び管理に関する条例の制定について | ○議案第19号 | 長野県町村公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の減少及び規約の変更について |
| ○議案第6号 | 木祖村農業集落排水施設の設置及び管理に関する条例を廃止する条例について | ○議案第20号 | 木曾広域連合規約の変更について |
| ○議案第7号 | 木祖村簡易水道事業の設置等に関する条例の制定について | ○議案第21号 | 辺地総合整備計画の変更について |
| ○議案第8号 | 木祖村下水道事業の設置等に関する条例の制定について | ○議案第22号 | 令和元年度木祖村一般会計補正予算（第6号） |
| ○議案第9号 | 木祖村簡易水道及び下水道事業の剰余金の処分等に関する条例の制定について | ○議案第23号 | 令和元年度木祖村国民健康保険特別会計補正予算（第3号） |
| ○議案第10号 | 木祖村農業集落排水施設の管理に関する条例の制定について | ○議案第24号 | 令和元年度木祖村後期高齢者医療制度特別会計補正予算（第3号） |
| ○議案第11号 | 木祖村浄化槽市町村整備推進事業に関する条例の一部を改正する条例について | ○議案第25号 | 令和元年度木祖村営水道特別会計補正予算（第4号） |
| ○議案第12号 | 木祖村特別会計設置条例の一部を改正する条例について | ○議案第26号 | 令和元年度木祖村農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号） |
| ○議案第13号 | 木祖村議会委員会条例の一部を改正する条例について | ○議案第27号 | 令和元年度木祖村公共下水道事業特別会計補正予算（第3号） |
| ○議案第14号 | 木祖村一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について | ○議案第28号 | 令和2年度木祖村一般会計予算（賛成5 反対3 可決） |
| ○議案第15号 | 木祖村体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について | ○議案第29号 | 令和2年度木祖村国民健康保険特別会計予算 |
| ○議案第16号 | 木祖村国民健康保険税条例の一部を改正する条例について | ○議案第30号 | 令和2年度木祖村後期高齢者医療制度特別会計予算 |
| | | ○議案第31号 | 令和2年度木祖村簡易水道事業会計予算 |
| | | ○議案第32号 | 令和2年度木祖村下水道事業会計予算 |

令和2年3月11日(水)

■ 厚生文教委員会 (連合審査)

議案第22号 令和元年度 木祖村一般会計補正予算 (第6号)

問 障害者地域生活支援事業の減額の理由は。

答 介護保険等の制度に振り分けたため減額となった。

議案第28号 令和2年度 木祖村一般会計予算

問 ふるさと納税増額の根拠と返礼品の追加予定はあるのか。

答 知名度のあるサイトの追加を予定している。返礼品は商工会へ照会している。又、企業版のふるさと納税に力を入れていきたい。

問 校務支援システム管理委託料の内容は。

答 教職員が児童生徒の管理のため、全県一律のシステムに対し木祖村も参入するものである。

問 公共整備、緩衝帯整備に対するシルバー人材センターへの委託はどのように変わるのか。

答 村が中に入り募集を進めていく。作業場所の見直しなどで経費削減を図っている。

問 広域消防庁舎整備負担金はどのように使われるのか。

答 女性消防署員採用に向けて夜勤勤務体制を取れるよう施設整備をするものである。

問 婚活サポーターに対する報酬は。

答 専属して婚活事業に係れる人をサポーターとして公募するための費用である。

問 婚姻後の定住夫婦へ配布される記念品を、年数で区切るとは不公平でないか。子育て支援等に充てるほうが公平性がある。見直しはしないのか。

答 総合戦略計画の中で検討、提案された事業であり、令和2年度は見直しをせずこのままいきたい。



問 福祉施設に入れるトレーニングマシンは一機種のみであるのか。

答 補助金の制約で一機種となった。全身運動、有酸素運動ができる有効性の高い機種を導入する。翌年度以降も補助金を活用しながら選定していく。

問 地域振興バスガイドブックはどのようなものか。

答 ひまわり号の時刻表で持ち歩きのできるものである。

問 一時保育室改修事業の仕切り設置のみでは高額でないか。

答 廊下側へドアの設置を含めたもので、移動可能なパーティションも考えており実施の際には十分に検討をしていきたい。

問 中学校部活指導員の設置について。

答 教員負担軽減のため県の補助金活用事業で導入するが、部活指導員として登録する3名分の計上である。

問 スポーツ推進委員に対する報酬、旅費について。

答 現在、5名登録しているが、体育協会等の会議への出席に対する報酬や、県による研修会等への参加に対する旅費である。

議案第29号 令和2年度 木祖村国民健康保険特別会計予算

問 オンライン資格確認開始年度はいつからになるのか。

答 保険証の代わりとなるマイナンバーカード使用が令和3年度からであるが、課題が多く開始年度は定かでない。

議案第30号 令和2年度 木祖村後期高齢者医療制度特別会計予算

問 保険料均等割り軽減特例の見直しをどのようにするのか。

答 所得に応じ特例により軽減されてきたが、本来の率に戻すため段階的に見直しをしていく。



産業経済

令和2年3月12日(木)

産業経済委員会（連合審査）

議案第5号

条例制定

○大蔦屋設置及び管理に関する条例の制定

【概要】

大蔦屋を藪原宿のにぎわい創出拠点として観光客と村民への利用に供し、村の活性化に資する目的で条例を制定する。

令和2年4月1日～5年間借用計画（以降自動更新）

賃貸借料、月額70000円（消費税込み）

***注目（大蔦屋は、かなりの討論となった。）**

【委員会審議】

問 家賃が高額である、もう少し安くないのか。

答 家主との交渉結果である。

問 管理は指定管理委託するのか。

答 当面は地域おこし協力隊にお願いするが、指定管理することもできる。

問 藪原宿のにぎわい創出拠点はどこまで整備するのか。

答 基本的には大蔦屋、米屋、藤屋を考えている。



議案第28号 令和2年度 木祖村一般会計予算

問 農業機械購入補助金は誰でも利用できるのか。

答 個人は補助対象外、人・農地プランの中心となる経営体を含む3名以上で構成された団体が対象である。

問 郷土の森（水木沢天然林）の管理委託はどのようにするか。

答 NPO水の始発駅に委託をしてきたが解散により個人委託にする。

問 加工所ができたが、6次産業化の具体的取り組みはあるのか。

答 大根を木祖村の生産者に作っていただき加工センターで加工し販売する取り組みを考えている。

問 藤屋はどのように修繕をするのか。

答 一階の大広間を畳から板の間に、車庫をアトリエに改修する。

問 ヤマトイワナの産卵場整備増設の計画はあるのか。

答 増やす事は考えていない。

問 鳥居峠の整備はどのようにするのか。

答 令和2年度よりシルバー人材センターに委託をし、トイレ清掃と遊歩道整備を行う。

問 木祖村の橋梁点検計画は。

答 令和2年度は30橋点検し3か年で89橋点検する。

議案第31号 令和2年度 木祖村簡易水道事業会計予算

問 減価償却費の償却年数で管路は何年で償却か。

答 管路は40年で償却、減価償却の方法は定額法である。

議案第32号 令和2年度 木祖村下水道事業会計予算

問 未設置浄化槽の箇所数は何か所か。

答 30基前後である。



郡内初となる

「木祖村気候非常事態宣言」

令和2年3月16日 議場に於いて唐澤村長から「木祖村気候非常事態宣言」が読み上げられました。

これは、世界を取り巻く環境問題に早く着手し、台風・豪雨・災害などを少しでも抑えるため、木祖村からも「パリ協定」実現に向け「脱炭素社会」を目指すための宣言です。

我々木祖村は、郷土を守り豊かな地域を目指すことが大事なことであり、この地域での暮らしがいつまでも継続して将来の子どもたちに良い環境を作り残さなければならないとの見解であり『議会も賛同』とし、発表されたものです。

木祖村気候非常事態宣言

今、地球温暖化に起因する気候変動が、世界中で異常気象や大規模な自然災害を発生させ、日本においても夏の異常なまでの気温上昇、度重なる強力な台風や短時間豪雨による災害が多発するなど、極めて深刻な脅威となっています。

この気候変動に対し、日本を含む世界各国が、「パリ協定」実現に向けて2020年1月に始動し、最終到達点として「脱炭素社会」を目指しています。

人口2,800人強の木祖村では、先人達が短い夏には額に汗しながら、全国ブランドの「御嶽はくさい」をはじめとする高原野菜を育て、また、長く厳しい冬には、良質な降雪を活かし、長野県下で最も歴史の古いスキー場の一つである「やぶはら高原スキー場」を村の経済を支える施設として育ててきました。

現在、長引く天候不良やスポーツ・レクリエーションに対する嗜好の変化などが、本村の冷涼な気候を活かした高原野菜づくりや来場者を良質の雪で魅了する冬の観光資源活用に影を落とし始めています。

夏の涼しさと寒い冬に立脚している観光資源は本村の誇りであり、地球温暖化による気候変動には断固として「待った」をかけていかなければなりません。

また、村の将来を担う子どもたちから、地球温暖化防止に関する取組の提言も生まれています。

小さな村で、できることは限られてはいますが、木曾川源流の里として私たちにしかできないことがあると考えます。

これらを踏まえ本村は、ここに「気候非常事態」を宣言することにより、村民の生命・財産・生活を守り、将来世代に持続可能な社会を引き継いでいけるよう、次の活動に取り組みます。

- 1 地球温暖化の防止に村民一人ひとりが関心を持ち、四季の美しさ、快適さを実感できる本村の自然環境保全活動を推進します。
- 2 木曾川源流の里として森林の適正な管理に努めることにより、二酸化炭素の吸収力を高めるとともに、本村の森林保全活動を下流域に積極的に発信し、流域自治体の模範となります。
- 3 村民一人ひとりが気候変動に対する危機感を共有しながら、二酸化炭素排出量縮減の観点から、資源物の有効活用とリサイクル活動を強化します。
- 4 再生可能エネルギーの普及拡大を図るとともに省エネルギーへの意識を高めます。
- 5 地球温暖化防止対策に村を挙げて取り組むことにより、村民生活の豊かさや下流域に対する水の安定供給の源となる「木祖村の雪」を守ります。

令和2年（2020年）3月16日

木祖村長 唐澤 一寛

一般
質問

村政を問う

8 議員15件

青木 功 議員

- 1 木曾ペインティングス活動の継続を問う
- 2 学校給食主食米について

安原千佳世 議員

- 1 「特定地域づくり事業」への取り組みを問う
- 2 森林経営管理制度の導入等に伴う広域連合への対応について
- 3 NPO法人「水の始発駅」の解散について

栗屋 正一 議員

- 1 森林管理制度の村の取り組みを問う

鈴木 正弘 議員

- 1 社会体育と部活動の充実した対策を問う
- 2 消火活動と通報との関連について

田上 芳朗 議員

- 1 地元特産品開発の取り組みと施設の有効活用に対する考えを問う
- 2 新型コロナウイルス等による村の危機管理について

田中 寛幸 議員

- 1 村内にある公園の活用方法及び維持管理の状況（実態）を問う
- 2 木祖村郷土館の展示物について

太久保繁子 議員

- 1 独居高齢者の緊急時通報対策を問う

深澤 衿子 議員

- 1 施政方針から
- 2 新型コロナウイルス対策について



木曾ペインティングス活動の継続を問う

答 芸術の村としての更なる発展に期待したい

青木 功 議員

問 数原宿を中心に開催された、第3回木曾ペインティングス「夜明けの家」の感想は。

村長 彼らの活動は日曜画家の村として位置付けする木祖村に、違う観点から木祖村の良さを見抜き、新たな風を吹き込んでくれた。自らの清掃活動から、空き家の扉を開け空き家の価値を見出したこと、子ども達と交流を深めたこと、又、外国人とのワークショップの開催等で元気づくり支援金事業知事賞、そして大賞をも受賞した。地域の活性化として高い評価をしている。

問 今年の6月に第4回となる木曾ペインティングス「千年のすみか」が再び木祖村で開催される。旧藤屋旅館の利活用と展示会場となる空き家の耐震問題は。

商工観光課長 制作者の食と住を賅える拠点として、新たにシェアアトリエとして改修を始める。展示会場は古い建物ばかりであり、耐震診断をすれば補修の必要はあるが、この活動の目的は、閉ざされた空き家の

扉を開けることであり、大勢の人の目に触れて頂き、住んでみたいと思える人が現れる可能性が期待できることにある。

問 彼らの活動は、芸術を通して地域活性化の一因となることへの期待、空き家の新たな利活用、アートの村として新たな木祖村を世界に発信しようとする斬新的な企画等、村にとってプラスの要素を十分に持つ継続可能な事業と考える。支援の可能性は。

村長 木祖村が日曜画家の村であると共に、芸術の村として発展していく事に期待をしている。元気づくり支援金事業に代わる事業の創出で、十分な活動ができるよう施策を柔軟に考え、彼らの意気込みや活躍に対して大いに応援をしていきたい。

他「学校給食主食米について」



安原千佳世 議員

『特定地域づくり事業』への取り組みを問う

答 前向きに取り組む方針である

問 本年6月に施工される『地域人口の急減に対処するための特定地域づくり事業の推進に関する法律』は地方の人口減少対策として制定された。過疎地に人材派遣協同組合を新設し、働く場を確保することで地元の若者や移住者の増加を図ることを目的とする。国と町村が経費の半分、事業者が利用料で半分を負担する。働き口と安定した収入は地方で定住を望む人にとっては欠かせない条件。村として取り組む考えはあるのか。

村長 本件については源流の里協議会において議論してきた。木祖村は過疎地域であり対象となる。地域づくりとそのための人材育成を図るための法律である。事業内容・計画、実施区域等を定め県知事の承認を要する。認定された事業は10年間有効となり随時更新もできる。人材については、地元の若者、都会の若者、地域おこし協力隊員、役場の職員も公務外で対象

となる。事業については共同生産・加工、購入販売、運送・保管の共同事業公益的事業についても人材派遣という形で可能である。農林水産業・観光業、コミュニティバスの運行にも適用できる。国の補助は人件費・運営費の半分が補助される。年限は定められていない。有利な支援である。今後説明会が開催され、ガイドラインも出されてくる。前向きに検討していく。

他 <<森林経営管理制度の導入等に伴う
広域連合への対応について>>
<<NPO法人「水の始発駅公園」の解散について>>



栗屋正一 議員

森林経営管理制度の取り組みを問う

答 中山森林整備を前向きに検討する

問 いよいよ、森林環境譲与税を財源とする事業が動き出す訳であるが村としてまずやるべき森林データ、所有者情報提供、管理区分等、国土調査のような膨大な作業と聞かすがどの様に進めるのか。

農林課長 現在は林務係が抽出作業をおこなっている。木曽広域と連携できるよう進めていく。

意見 木曽広域に新たに出来る森林整備推進室（4人体制）に木祖村からも1名派遣することは県と木曽広域と木祖村との円滑な連携ができ整備する森林ゾーンに向けての作業が順調に進みよいことだと思う。

問 将来の戦略として村の中心に位置する中山の森林整備をし、枯渇した広葉樹資源の回復及び針広混交林の造成をすべきと考えるが。

村長 中山は森林整備が入っていないのでよいアイデアだと思う。将来相当なお金がかかるので、前向きに考えたい。

意見 源流の村にふさわしい森林整備の推進をすることで作業道の仕事もできトレッキング、サイクリングコースなど観光にもつながる。是非、下流域の支援や県の森林税も活用し、木祖村の自慢できる山にして欲しい。





鈴木正弘 議員

社会体育と部活動の充実した対策を問う

答 総合型地域スポーツクラブの立ち上げと指導者発掘に努める

問 この木祖村でも『スポーツする子と、しない子の二極化があり』スポーツ活動に於いて、先生方の働き方改革で負担が多く時間が取れない。他町村と比較して「充実しているか」「いないか」を伺いたい。

教育長 小学校・中学校のアンケート調査の結果では、スポーツ・文化活動に携わっている回答が82%。今後、学校だけに任せるだけでなく指導者の在り方も必要である。

問 県内でも中体連・高体連の部活動等、維持継続に変化があり活動が成り立たないのが状況もある。

2月17日に木祖小6年生「模擬子ども議会」が行われ、村長は「子どもは宝物だと、議場でお話をされました。」このような子どもたちが豊かで健全な心身を養い、能力を引き出す為にも、これからのスポーツ活動をどのように活かせば良いのか手立てはあるのか。お尋ねします。

教育長 やりたいスポーツをどのように導くべきかが課題であり、①学校の枠を外した他町村との合同チームや、指導を委任する方法。②地域主体のスポーツクラブを立ち上げ、住民と生涯スポーツ等を繋ぐよう努める方法が考えられる。

問 村の放送でも『スキーマのオリンピック選手になりたい・ゴルフが上手になりたい・陸上で良い成績を残したい等』どのように捉えるか。

教育長 子どもたちがやりたいスポーツを保証するように環境を整えることが大切である。また指導者の発掘が必要である。

問 指導者育成の構築に努め、アスリートが生まれる村にしたい。是非とも社会体育の推進に力を入れていただきたい。いかがでしょうか。

教育長 スポーツを楽しむことが村民の健康に直結するので、体力作りや指導者育成に努めたい。

他 <<消火活動と通報との関連について>>



田上芳朗 議員

地元特産品開発の取り組みと施設の有効活用に対する考えを問う

答 エゴマ栽培推進のため、農業従事者との懇談会開催を検討する

問 サツマイモ、大根を特産品にと考えても、元手がかかる。エゴマ油も需要が多く、イノシシ対策にもなるが、栽培に非常に手間がかかる。加工施設を有効活用できる特産品を、村として考えているか。

農林課長 農業委員会、農地調整会議、畜産農家のみなさんと牧草地でのエゴマ栽培を検討している。

問 手間賃も出ない販売価格であり、特産品と位置付けるなら、行政から栽培農家への補助も必要である。栽培農家との懇談会等の考えはないか。また、味噌川ダムにウチダザリガニが大繁殖している。商品として扱っているところもあるが、活用する考えはないか。

村長 エゴマ栽培農家との懇談会は、是非、行いたい。ウチダザリガニについては、進めていきたい。

問 先ほど、農林課長が述べた農地調整会議とは、何か。

農林課長 遊休農地が発生する若しくは発生の可能性がある時、地域の方、部会員、それに関わる耕作者の

方に参加いただき、その農地の耕作者の選定等を調整するものです。耕作者については、主に専業農家の方である。

問 この先、専業農家だけでなく、休耕を強いられる人が増える。農業委員、推進委員も入れるべきではないか。

農林課長 これからは、農業委員、推進委員にも参加の要請をしていく。

問 公会所の利用は、年4回程度の常会しかない。維持費だけがかかる。観光やイベント等に活用できないか。

村長 そば打ち体験は、ほのぼののハウス中心に転作研修センター・ときわ・村民センターを利用してきたが、道具の貸し出しもしているので、公会所の活用も考える。他の活用方法は、他町村等の情報も得て、研究する。

他 <<新型コロナウイルス等による村の危機管理について>>



田中寛幸 議員

村内にある公園の活用方法及び維持管理の状況（実態）を問う

答 子どもたちが安全に利用できる
適正な維持管理に努める

問 村内には各地域住民・公の施設として公園があるが、その公園の数とどのような目的で作られ、維持管理の問題点や改善点はあるか。

総務課長 こだまの森を含め13か所あり村民の健康増進、福祉の向上、地域の活性化、子どもたちが安全に利用できるよう維持管理をしている。トイレなどの施設管理は、村負担、環境整備については、地域住民の皆様にも担っていただいている。環境整備等についても少子高齢化によりままならない状況もある。

問 子育て世代のコミュニティとしての公園整備計画があるのか。

住民福祉課長 子育て支援センターを運営し子ども同士や親同士の交流の場として利用があり令和元年度は29世帯の登録があり子育て世帯のコミュニティの役割を果たしてきた。小さな子どもを安心して遊ばせることのできる公園の今年度の計画はない。

問 NPO法人の解散にあたり、木祖村藪原の玄関口

の『水の始発駅公園』を行政は今後どのように活かしていくか。

商工観光課長 任意の団体を組織しての継続であり、必要な支援や予算措置を行いながら村の玄関口の景観整備をしていきたい。

問 『水の始発駅』『郷土館』『木工文化センター』『お六櫛体験工房』『宝仙開拓団慰霊碑』『森林鉄道の軽便』『D51蒸気機関車』等、今ある財産を活用及び充実させ村内外の皆様、子どもたちが安心して遊べる空間作りをしてはどうか。

村長 村民センターを含めた周辺施設の利活用については、木祖村の玄関口として綺麗にしていきたい。平成元年の花壇整理から始まり平成13年に水源地ビジョンが策定され20年からNPO水の始発駅が立ちあがり木祖村の玄関口を綺麗にしてきた。夢として対岸の弁天様付近の場所に橋をかけて一連の公園にしていきたい。 他 <木祖村郷土館の展示物について>



大久保繁子 議員

独居高齢者の緊急時通報対策を問う

答 安心して暮らせる村を重点に
高齢者福祉計画を策定

問 村長は笑顔が溢れ、笑い声の絶えない安心、安全な村を目指す但独居高齢者の緊急時通報にはどのような施策があるのかを問う。

住民福祉課長 村には200の独居高齢者世帯があり、安心して住み続けられる施策を行っている。

- ① 民生委員による月1度の安否確認、緊急医療キッドの保管
- ② 緊急時通報サービス
- ③ 高齢者等、要援護者支援システムの構築と支え合いマップの作成
- ④ 社協による弁当配達と安否確認、75歳以上のサービス不利用者への訪問
- ⑤ 近隣住民による支え合いの再構築と生活支援コーディネート活動、学習会、講演会、ワークショップの開催など高齢者を支える為の地道な施策を行っている。

今年から認知症に対する、見守り、安心保険事業を開始する。



令和2年2月17日(月)

木祖小学校6年生による「模擬子ども議会」発表 概要

木祖村役場3F議場にて10:00開会 「テーマと発表者」…【質問の答弁は、唐澤村長】

1 木祖村の人口減少について考えたいこと

(寺平祈愛さん・山路凜香さん・寺澤剣成さん)

村長 仕事場を作る・村営住宅を作る・移住者を増やす・健康長寿に取り組みたい。

- ① 木祖村では、人口減少にならないために、今何か取り組みをしているのか。
- ② 木祖村では、今後人口を増やすために新しく考えていることはあるか。
- ③ 2020年人口ピラミッドをみると、20～29歳の人が少ない。若者に人気のものをつくつたらいいと思うが、木祖村では若者を増やすためにしていることはあるのか。
- ④ 木祖村で一番観光客が多く来る場所やイベントは何か。またその場所で木祖村の特産品をPRすれば、それがほしいとか、それを自分も作ってみたいとか興味を持つ人が増えると思うが、どうか。

2 児童アンケートや保護者アンケートで考えたこと

(中田渉夢さん・野中桐花さん・山崎琉生さん・岩原来夢さん・笹川拓海さん・松葉音色さん)

村長 遊園地は今後考えて取り組みたい。国道に広い場所が無いのでコンビニができない。

- ① 木祖村に飲食店が入っているショッピングモールを建ててほしいがどうか。
- ② 19区など上方の地区に住んでいる人のために、小さなスーパーを建てたらいいと思うがどうか。
- ③ 子どもたちが遊べるような遊園地や木のアスレチックやゲームセンターを建てたらどうか。

グループが換わる

- ① 買い物をするのが不便な人に何か対策はありますか。
- ② コンビニがほしいという人が大勢いた。コンビニは便利だが、なぜ木祖村にはコンビニがないのか。
- ③ 木祖村でしたい仕事がない・働くところがないという理由で、村外で働いている人がいる。木祖村で働く人を増やすために、どのような仕事と考えられるか。

3 木に囲まれている木祖村の山火事について考えた

(小坂陽詩さん・小畑希羽さん)

村長 森林関係は関係機関と連携して初期消火活動に取り組む。

- ① 山火事が起きたら村はどんな行動をするか。
- ② 山火事に対してどのような対策をしているのか。
- ③ 山火事で木がなくなったらどうするか。どのように木を復活させるか。
- ④ 県の指定のカモシカが木祖村にもいますが、山火事が起きたとき動物を避難させる活動をしますか。

4 酸性雨の被害について考えたこと

(森下つば実さん・唐澤琉伊さん・奥原倅太さん)

村長 酸性雨については、村として地球温暖化対策に取り組む。

- ① 木祖村では酸性雨に対策をしているか。
- ② 木祖村に多くの酸性雨が降ったら人や建物にどのような影響があるか。村民にできることはあるか。
- ③ 廃棄物を減らすと酸性雨は減らせると思うがどうか。

5 木祖村のゴミ問題で考えたこと

(深澤汐風さん・篠原万里佳さん・田上凌音さん・坂岩煌己さん)

村長 いま以上にゴミの分別をきちんとできるように取り組む。

- ① 木祖村にはゴミがどのくらいあるのか。
- ② 木祖村ではゴミを減らすために何をしていますか。
- ③ ゴミを減らすために私たち村民ができることはあるか。塩尻市ではゴミを拾う日があるが、木祖村はどうなのか。
- ④ ゴミを減らすために地区ごとに月に一回ゴミ拾いをする日をつくれればいいが、どうか。

6 地球温暖化とオゾン層の問題について考えたこと

(古井はるかさん・清水葵生さん・原海渡さん・小林弘希さん)

村長 20～30年先の森林を守り・雪を守り・オゾン層を守ることに取り組む。

- ① 村では地球温暖化を止めるために、何か対策を行っているか。
- ② 今年は気温が高く、スキー場では大変らしいが、そのことについて村ではどのように考えているのか。
- ③ 白馬村では「雪を守ろう」というテーマで活動を行っているが、木祖村でも白馬村のようにテーマを持って活動したらどうか。
- ④ 木祖村ではオゾン層の破壊を防ぐために何か取り組みはしているのか。
- ⑤ 天然林の方が人工林より二酸化炭素を吸収する働きがあるという。木祖村では天然林を守る活動をしているのか。

これからの村の事や、世界中を見据えた大きな課題に取り組む姿勢に対して村長や議員全員が関心を持ち、将来を担う子どもたちの質問内容に感謝申し上げます。ありがとうございます。

松塩筑木耆老人福祉施設組合議会の報告

深澤 衿子

2月定例会が2月3日、10時から開会され、以下のように議決・承認されたので報告する。

- 議案 第1号 一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
(人事院勧告に基づく住居手当の改定)
- 議案 第2号 職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例
(会計年度任用職員に対する事項を新たに定めるもの)
- 議案 第3号 令和2年度組合一般会計予算

■ 歳入

款	令和2年度 予算額 (A)	令和元年度 予算額 (B)	比較 (A) - (B)
1 サービス収入	4,375,564	4,328,292	47,272
2 分担金及び負担金	52,831	33,031	19,800
3 財産収入	971	1,175	△ 204
4 使用料及び手数料	7	7	0
5 寄附金	100	100	0
6 繰入金	150,108	36,050	114,058
7 繰越金	1,000	1,000	0
8 諸収入	23,879	26,705	△ 2,826
9 組合債	24,000	210,500	△ 186,500
12 事業収入	1,540	3,140	△ 1,600
歳入合計	4,630,000	4,640,000	△ 10,000

■ 歳出 (目的別)

款	令和2年度 予算額 (A)	令和元年度 予算額 (B)	比較 (A) - (B)
1 議会費	1,049	1,275	△ 226
2 総務費	357,596	191,933	165,663
3 民生費	4,134,611	4,261,022	△ 126,411
4 公債費	131,744	180,770	△ 49,026
5 予備費	5,000	5,000	0
歳出合計	4,630,000	4,640,000	△ 10,000

- 議案 第4号 令和元年度組合一般会計補正予算 (第3号)
一般会計に於いて歳入歳出それぞれ3千万円を追加し、予算総額を47億2千万円とする。
各施設の人件費等の増や退職手当基金積立金の増である。(見込者15人 → 22人)

◎その他 報告案件の説明 管理者の専決処分事項の指定に係わる報告について
(施設内での介護職員の初歩的ミスが多発)

◎全員協議会

- 1、給与制度等検討委員会の委員の指名について
- 2、通所介護施設6ヶ所の施設貸与(案)について
- 3、給食調理業務委託について
- 4、職員の懲戒処分について(2件)

議員の活動研修報告

令和2年
1月22日(水)

第15回長野県地方自治政策課題研修会

長野県庁にて
阿部 守一 県知事 挨拶



講演 「地方議員のなり手不足問題について」

講師 長野県立大学グローバルマネジメント学部助教 三浦 正士氏



地方分権の推進で、地域の実態が平成の合併による議員総数の大幅減・人口減少時代の到来から脱却するには、自治体議員の取組が重要で、地域政治に対する住民の関心・信頼の低下を独自の改革を通じて、自治体議会の活性化策を積極的に住民に示すこと。議員報酬の低いほど、議員定数が少なく無投票でなり手不足につながる。総合戦略や総合計画等の制定に議会として積極的に関わることが不可欠である。

講演 「AI・IOTがもたらす未来の社会」

講師 富士通株式会社 シニアエバンジェリスト 及川 洋光氏



デジタル技術とデータを駆使して未来的なサービスやビジネスプロセスの変革をもたらすもので、2025年に向けた「ありたい姿」で今後の【水の資源 IOT・5G（監視カメラ）・ドローンによるダム監視・貯水率の予測・災害被害予測、把握】など、日本では5GによりAI画像認識による現場状況対応などに有効である。私たちは、想像認識から今後現実に遭遇していく事に注目を置き、地域課題問題の解決をこれからの時代に利用しなければならない状況になる。

令和2年
1月29日(水)

長野県町村議会議長会

伊那文化会館
長野県議会議員議長 下平 豊久氏 挨拶



講義 演題 「本会議・委員会の事例研究」

講師 長野県町村議会議長会 政務課 宮崎 康史 副参事兼担当係長



各町村議会運営に係わる内容で『本会議に即決する議案と委員会に付託する議案が一括議題として取り上げられるのか』『議員の言動で「論議」「道徳的」なことで議会運営委員会議会改革特別委員会のどちらが適当か』『議員間討議を実施する場合、その方法及び注意点はどうか』など議会運営に関する36項目の事例集についての研修がとりおこなわれた。

私たち議会は行政と住民との掛け橋であり、これを機に今後議会がスムーズに運営活動が進行できるよう良い研修になったと感じました。

請願・陳情について

本年3月議会に長野県医療労働組合連合会より、木祖村議会に「陳情」が提出されました。1件の「陳情」を委員会審議に付託され審査を致しました。

陳情書 医師養成定員を減らす政府方針の見直しを求める陳情 『採択・議決』
提案議員 深澤衿子

日本の医師数は、人口1,000人当り経済協力開発機構（OECD）平均3.5人に対して、日本は2.4人と極めて少なく、週60時間以上働く割合は職種別で医師が最も高くなっています。特に救急や産科では、一ヶ月の平均時間外労働時間が平均80~90時間を超え、32時間連続勤務が強いられています。政府は2020年度以降医学部定員数減の検討方向・医療需要ベッド数を減らす連動した考えであるため、長時間労働・医師不足が続く地域医療に大きな影響が及ぶため引き続き、医師数をOECD平均以上の水準に増やすことを強く求めるものです。

長野県木曾郡木祖村議会

【意見書提出先】

（内閣総理大臣・厚生労働大臣・財務大臣・文部科学大臣・総務大臣）



令和2年1月15日(水)
道の駅と農産物生産者及び加工品納入者との懇談会
老人福祉センター

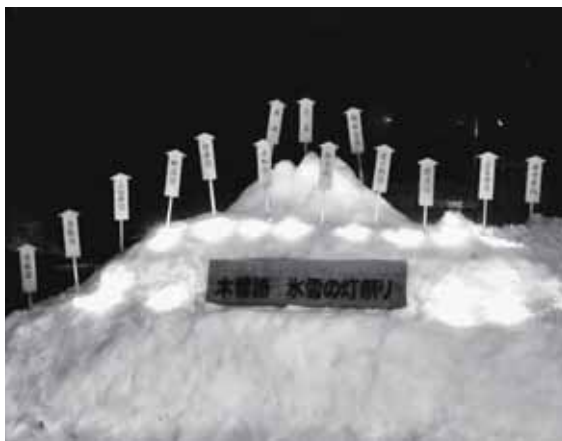


質問者



村・道の駅関係者

令和2年1月25日(土)
郡内本年度、ここから始める木曽路氷雪の灯祭り



雪灯り会場



ブース会場

令和2年1月29日(水)
藪原宿未来プロジェクト報告会



終了後、皆と懇親会

令和2年2月16日(日)
むらづくりミーティング 講演



講師 鳥巢 研二氏

元気発見! むらびと大図鑑

西野今朝美さん

直売所愛菜の会の立ち上げにご苦労され、リーダーシップを持って会員をまとめ、内外にその存在をアピールした肝っ玉母さん。農業委員も務めました。



寺平ケフ子さん

今朝美さんの妹、そして祈愛さんの祖母！白菜農家で夫と息子さんを支えつつ、しょう漬けの会会長として、特に冬場は漬物づくりと販売に東奔西走中。伝統野菜の細島かぶを守り続けています。



西野 梅子さん



西野建築の縁の下の力持ち的存在であり、元アルペン西のおかみさん！昨年まで2期にわたって民生児童委員として地域社会に貢献されました。

大久保和典さん

現在17区の自治会長を務め、区民の為日々活動中である。又、西山維持保全管理組合の組合長であり、今年当組合はその活動が認められ関東農政局長より表彰された有望な若きリーダーです。



編集後記

「道しるべ・議会報」は、令和元年度から横文字の編集としました。編集にあたり今までと違う取り組みで発行となりました。村民の皆様方は見やすかったでしょうか…いかがでしたか。

年が明けてからは、日本は元より世界中でコロナウイルスが蔓延しています。自分で気をつけていてもどこから忍び寄るか分からない状況です。

年度の切り替えで色んな会合が中止・延期になっています。小中学校の卒業式は縮小で執り行われました。6年生、中学3年生の子どもたちや保護者の気持ちを考えると残念でなりません。

これからも村民の方々も健康と感染予防対策に気をつけて下さい。

議会も感染予防対策と経済事情の動向に目を向け、一丸となって取り組んでまいります。

【報告】*丸山議員は、8月まで療養中の為 只今、休職中です。

議会としても彼の一刻も早い復帰を待ち望んでいるところです。